

令和 8 年度 第 2 回横浜市神奈川区民文化センター指定管理者選定評価委員会 会議録	
日 時	令和 8 年 8 月 7 日（金）13 時 00 分～15 時 10 分
開催場所	神奈川区役所 本館 4 階 第 1 会議室
出席者	井手委員、岩崎委員、草加委員、箕口委員、八木下委員 （計 5 名）
欠席者	なし
開催形態	面接審査公開・選定審議一部非公開（傍聴者なし）
議題	1 面接審査 2 指定候補者選定審議
審議結果	1 面接審査 (1) 対象施設（1 施設） 神奈川区民文化センター (2) 応募団体（1 団体） 横浜メディアアド・清光社・JSS 共同事業体 面接審査は 1 団体あたり 10 分間のプレゼンテーション及び 20 分間の質疑応答を行った。 2 指定候補者選定審議 評点 185.60 点（合計点数 928 点） 委員の評点（平均点）は上記のとおりとなった。指定候補者となるための、選定委員会の定める最低基準点（加減点項目を除く評価基準項目の合計の 6 割以上）を満たすことを確認した。 第 5 期指定管理者の候補者として「横浜メディアアド・清光社・JSS 共同事業体」を選定することに異議が無かったため、同団体を指定候補者として選定した。
主な委員意見等	1 面接審査質疑 委員）勤務表案について、遅番舞台担当が 1 人の日が 1/3 ほどもある。ホールの利用率が高い中で、人員配置が少ないのではないか。 団体）非常勤スタッフを補充するほか、イベント状況をみて臨機応変に出勤人数を調整する。また、夜は公演が少なくなっている実情もある。 委員）自主事業の内容について聞きたい。 団体）今回新しく増えた項目であり検討したが、公共文化施設でやっていくのは難しいと感じた。提案した内容はあくまでアイデア段階で、採算などは今後の検討事項。 委員）指定管理業務が第一だと思うが、アイデアについては評価したい。ただ、今後自主事業を求めるのかという点については市の方で検討してほしい。 委員）事業担当と地域コーディネーターが兼任である負担について第三者評価で指摘があったと思うが、検討されたのか。 団体）事業担当がコーディネーターとして地域に出ていくことで生まれた事業もある。共催事業を増やすなど事業担当の負担を減らしつつ対応していきたい。 委員）株式会社ジェー・エス・エスが構成団体として加わったのは、今まででは手いっぱいだったからなのか、それともさらに発展をさせるためという趣旨か。

団体) 後者。より責任感を持ってやっていく中で事業のアイデアを出してもらえ
ることなどを期待している。施設としても、舞台設備の不具合が多発する中
では、一貫した担当者に継続して、さらには共同事業体の一員として対応し
てもらえるというのは大変心強い。

2 指定候補者選定審議

今まで舞台管理業務を委託する形で関与していた株式会社ジェー・エス・エスが構
成団体として追加され、より盤石な体制となったことを評価する。現指定管理者とし
て文化施設を安定的に運用しており、公募要項で求められる文化芸術施設としての役
割に加え、地域間交流の取組などを実施してきた実績は評価できる。提案内容につい
ても、今後も地域の文化施設としての役割を担う取組に期待できる。

過去の運営も踏まえ、事業内容を精査している部分も見受けられる一方で、地域連
携や「あらゆる人」に文化芸術を届ける、といった視点で新たに力を入れていく活動
も提案されていた。限られたリソースの中で事業を推進するため、優先順位を明確に
しながら取り組む必要はあるが、「あらゆる人」が参加する地域コミュニティの醸成に
つながる施設として運営されていくことを期待したい。

このような点を評価し、指定候補者として選定した。